

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

歯痛・頭痛に

大正トンプク

第2類医薬品
〈解熱鎮痛薬〉

〈歯痛・頭痛〉

◆大正トンプクは、解熱鎮痛作用のあるアセトアミノフェン・エテンザミド、鎮静作用のあるブロモバレリル尿素を配合した細粒で、我慢できない歯の痛み、頭痛をしずめます。



使用上の注意



してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

① 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

③ 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります)

④ 服用時は飲酒しないでください

⑤ 長期連用しないでください



相談すること

① 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

② 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸痛しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

効 能

- ◆ 歯痛・抜歯後の疼痛・頭痛・咽喉痛・腰痛・肩こり痛・筋肉痛・関節痛・神経痛・月経痛（生理痛）・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- ◆ 悪寒・発熱時の解熱



用法・用量

次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上おいてください。

年齢	15才以上	11～14才	8～10才	5～7才	3～4才	3才未満
1回量	1包	2/3包	1/2包	1/3包	1/4包	服用しないこと
服用回数	1日2回まで					✕

[注意]

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成 分

1包(1.2g)中

成 分	分 量	はたらき
アセトアミノフェン	300mg	発熱・頭痛・歯痛・生理痛等、熱と痛みをします。
エテンザミド	350mg	鎮痛作用により、痛みをします。
プロモバレリル尿素	200mg	鎮静作用により、アセトアミノフェン等の鎮痛作用をたすけます。
無水カフェイン	50mg	頭痛をします。

添加物：セルロース、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、L-メントール

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



空腹時の服用はさけましょう

☆ 一般に熱や痛みをおさえる成分が、胃を刺激する場合があります。
なるべく服用する前に食べ物・飲み物をとりましょう。



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いいたします。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室
電話 03-3985-1800
受付時間 8:30～21:00（土、日、祝日を除く）



大正製薬株式会社
 東京都豊島区高田3丁目24番1号
<http://www.taisho.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電話：0120-149-931（フリーダイヤル）